

金管実習の授業に迫る！



管楽器リペア科
川上（1年生）高橋（2年生）林（2年生）

トランペット、ホルン、トロンボーンの3種類を学びます。トランペットではピストン楽器の修理方法、ホルンではロータリー楽器の修理方法、トロンボーンではスライド楽器の修理方法について学びます。今回は、凹んだり、曲がったりした楽器について取材しました。

凹出し

（へこだし）



楽器をぶつけてしまったときに出来る凹みや、キズを直すための実習です。トランペットに限らず、凹みなどの修理依頼は多くあります。金管楽器は、小さな凹みでも音色や音程に影響するため、適切な処置が必要です。



1

落としたり、ぶついたりして凹んでしまったベルです。



2

修理には芯金（しんがね）と呼ばれる工具を万力で固定して使用します。

万力に芯金を固定して、うまく体重を乗せて力をかけていきます。



3

芯金で管の中から凹んでいる箇所を押し出します。



4

木製のハンマーで凹みを叩いて直していく方法もあります。



5

電球などの光を乗せて、光の歪みで凹みを確認します。



6

きれいに凹みが直りました！



スライド 調整

曲ってしまったスライドを直す実習です。トロンボーンのスライドは、落したりぶつけやすく、変形しやすい箇所です。そのため、曲がってしまうとスムーズに動きにくくなります。

やりすぎると折れてしまうので、力加減が重要になります。



1

曲ってしまったスライドです。平らな板との間に隙間が空いています。



2

平らな金属の板の上にスライドを乗せて、隙間を見て曲がり具合をチェックしています。



3

曲がった方向と逆の方向に手で擦って直します。



4

スライドの幅を加熱し、溶接を溶かして調整しています。



5

最後にスライドを組み立てて動きを確認します。



6

綺麗に直りました！

実習風景

基礎から始まり、高度な技術を段階的に学ぶので、安心！

先生方はいつでもわかりやすく丁寧に、的確にアドバイスをくださるので、安心して学ぶことができます。クラスメイトともアドバイスし合いながら、楽しく授業を受けています。



一人一台の専用作業台を完備！



学校法人 中部学園（職業実践専門課程認定校）

中部楽器技術専門学校

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6

フリーダイヤル

0120-856-854

TEL:052-741-6788 **学校案内無料送付中**

URL: www.chubugakki.ac.jp

